



# 資料披露

第 45 号

編 集 令和 7 年 3 月 31 日

発 行 高森町歴史民俗資料館  
長野県下伊那郡高森町  
下市田 2243  
電話 (0265)35-7083

印 刷 (有) 雨 宮 印 刷  
電話 (0265)22-6027



## 目 次

|                       |     |                       |       |
|-----------------------|-----|-----------------------|-------|
| ○あいさつ .....           | 2   | ●ミニ平和展                |       |
| ○令和 6 年度事業報告 .....    | 3   | ●町民ギャラリー展             |       |
| ○資料館委員会等の記録 .....     | 4   | ○親子体験教室・小正月飾り作り ..... | 9     |
| ○「時の駅」講座 .....        | 5   | ○学校・地域との連携 .....      | 9     |
| ○令和 6 年度企画展・特別展 ..... | 6～8 | ○古文書・土器整理、清掃作業 .....  | 10    |
| ●刀剣が語る幕末の歴史           |     | ○研究調査報告 .....         | 11～15 |
| ●高森町が生んだ考古学者 神村透の人と学問 |     | ○令和 6 年度の記録 .....     | 16～17 |
| ●郷土の作家展               |     | ○令和 6 年度資料寄贈者 .....   | 18    |
| ●寺社奉納額にこめた人々の思い       |     | ○お知らせ .....           | 18    |
| ●ひな人形と美人画展            |     | ○編集後記 .....           | 18    |

## ◎ごあいさつ

## 高森町長 壬 生 照 玄



歴史民俗資料館「時の駅」は、多くの町民の皆さまのご要望により、昭和54年に建てられ、当初は「手造り資料館」との異名をもらうほど、町民のあたたかい支援で運営される地方色豊かでユニークな資料館でした。その後、日本最古の古銭「富本銭」が、下市田の「武陵地1号古墳」で発見されたこともあり、新たな展示スペースと収蔵室、学習室などを増築し現在にいたります。

高森町の歴史を知ることはもちろん、様々な「企画展」なども行われています。去年は、江戸時代の終わりに水戸浪士「天狗党」が京を目指して伊那谷を通過して160年を記念し、幕末の伊那谷を語る機会として「刀剣が語る幕末の歴史」を開催、関連する新撰組副長土方歳三・同初代局長芹沢鴨の刀などを展示し、町内外から多くの皆さまのご来場をいただきました。

このように資料館では、館長を中心に職員の皆さんで様々な企画を考え、定期的に企画展を実施している他、郷土の歴史を学ぶ「時の駅講座」や子どもたちも楽しむ事ができる体験会なども行い、生涯学習の場、ふるさと学習の場として、町民に愛される資料館を目指し日々活動をしています。

多くの町民の皆さまが、「時の駅」で学び、愛郷心を育んでいただけることを願っています。

## 高森町教育長 高 野 正 延



令和4年度から2年余りかけて、資料館調査委員会の皆さんが、町内の寺院や神社を回り奉納額の調査を重ねてきました。そして、昨年の初冬、「寺社奉納額にこめた人々の思い」と題した特別展を開催しました。説明書に、町内に現存する奉納額は166枚ほどとあります。金の中額がたくさんあり、各神社で弓の競射会が頻繁に開かれたことが分かりました。「叶 大関」などと書かれた相撲に関する額も多く、江戸末期から明治にかけて、神社を中心に地相撲が盛んであった様子が偲ばれました。また、俳額や和歌奉納額も多く、文化活動も活発だったようです。「め め」という額は、当時の穴開き銭で「め」の字をかたどってありました。眼病を患って平癒を祈願した時のもので、全快を感謝して奉納した絵馬が盗難に遭い、縁のある者たちが再び奉納したとの解説がありました。

このように、奉納額は、当時の人々のくらしや文化、交流や行事、思いまでも物語ってくれました。資料館を訪れると当時の人々の生き様や心の有り様に触れることができます。先人を知るとは、自分を知ることにもつながります。多くの町民の皆様、特に子どもたちには、できるだけ資料館に足を運んでほしいと思います。

## 資料館運営委員長 吉 田 正 治



自分が今現在いる場所は、大昔どういう人たちがいて、どのような暮らしをしていたのでしょうか。幾多の変遷を経て、今の我々があります。この大きな流れの中に、今の我々はいます。

これからを考える時、この過去の歴史を知っておくことはこれから生きる者たちにとって、大きな礎といえます。過去を学ぶことにより、人間のこれからの生き方を教わり、活かすことができます。先人の尊い歩みを今後に活かすこともできます。

今年度高森出身の考古学者神村透先生の特別展と講座がこの時の駅で開催されました。他にも、大人の体験講座がいくつか実施されました。その一つに資料館で復元された囲炉裏を囲んで、たんころりんの方々が昔話を語って下さいました。面白く興味の持てる催し物が目白押し。

皆さんは何回、時の駅を訪れましたか？

この地域にある歴史民俗資料館としては第一級の資料の数々と展示・企画展、講座の開催。

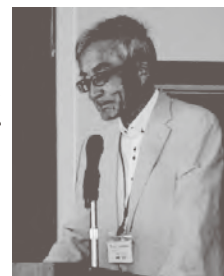
まだの人、お見えでない方々は是非とも足を運んでみて下さい。必見・必聞の価値がありますよ！！

## ◆令和6年度事業報告◆

館長 塩澤元広

高森町歴史民俗資料館「時の駅」では町内外の多くの方々にご利用頂きますとともに厚いご支援を賜り誠に有難うございました。

ここに令和6年度の事業報告をさせていただきます。



### (1) 企画・特別展

- ①企画展「刀剣が語る幕末の歴史」…………… 4月27日～ 6月 9日 1,594名
- ②特別展「高森町が生んだ考古学者 神村透の人と学問」…………… 6月30日～ 8月12日 773名
- ③特別展「郷土の作家展」…………… 9月 1日～10月11日 696名
- ④特別展「寺社奉納額にこめた人々の思い」…………… 11月 3日～12月 8日 746名
- ⑤企画展「ひな人形と美人画」…………… 3月 1日～ 4月 6日 576名
- ⑥ミニ平和展「高森からNO WAR!」「日清戦争の頃の軍事郵便」…………… 8月 6日～ 8月31日
- ⑦町内小中学校作品展(中学校10月22日～11月10日、南小11月12日～12月11日、北小1月8日～2月19日)

### (2) 資料館講演会「時の駅」講座

- ①第1講座「高森町が生んだ考古学者 神村透の人と学問」  
7月6日 長野県文化財保護審議会委員 市澤 英利氏 35名
- ②第2講座「藤村の『破戒』のモデル 大江磯吉を学ぶ」  
9月7日 高森町教育委員会教育長職務代理 湯澤 正農夫氏 39名
- ③第3講座「柿と樽木～江戸時代の高森の人々の負担～」  
11月9日 飯田市歴史研究所特任研究員 前澤 健氏 27名

### (3) 親子体験教室

- ①夏の親子体験教室(教委ブンカザイルキッズ連携も含む)
  - ・第1講座「富本銭レプリカ」・第2講座「まゆから糸取り、人形づくり」…………… 7月27日(土) 18名
  - ・第3講座「勾玉づくり」・第4講座「土器づくり」…………… 7月28日(日) 21名
  - ・第5講座「トンボ玉づくり」…………… 8月 4日(日) 27名
  - ・土器の野焼き 10月20日(日)
- ②小正月飾り体験教室 1月13日(月) 感染症防止のため餅つきと飾り作りのみ行った。参加者65名

### (4) 「大人の体験講座」

- ・10月20日(日)「いろいろ端で楽しむ昔話」 話者4名、聴講者19名
- ・3月 8日(土)「トンボ玉作り」 参加者10名

### (5) 古文書研究会

- ・毎月第3木曜日に学習会を開催した。
- ・2月23日(日)に会員の他、牛牧地区の町民が加わり、特別研究会を行った(弘化3年市田陣屋設置後の牛牧村の分割関係)。

### (6) 高森町史を読む会

- ・毎月第4木曜日に学習会を実施した。
- ・1月25日(土)に長野県立歴史館名誉学芸員 青木隆幸氏の特別講演会を行った。参加者44名

### (7) 委員会の活動

- ・資料館運営委員会 資料館の運営について協議 3回開催(他に小正月飾りで1回)
- ・資料館調査委員会 町内社寺にある奉納額についての調査を冊子にまとめる 5回開催(小正月飾り作りへも参加)
- ・資料館活用委員会 年3回 小中学校・図書館と、資料館活用方策等について協議

### (8) 学社連携事業 資料館と学校が連携して授業を実施した。(P9参照)

### (9) その他の取り組み

- ①蚕の飼育・大正月飾りは例年通り行った。
- ②古文書整理作業は、山吹「倉田家文書」、吉田「竹村家文書」の整理を行った。
- ③刀の手入れ作業(井村博久氏)
- ④初めて小学校へ入学した家庭に冊子「高森の人」、小学5年生に「文化財マップ」を寄贈した。

### (10) 町民ギャラリーの活用 「昭和をかざる切手展(1)」 1月18日～2月19日 568名

### (11) 入館者数7,262名 (昭和54年開館から累計291,712名)

見学はもちろん、多くの団体に施設を利用していただいた。(P16,P17参照)



青木隆幸氏



## 資料館 委員会等の記録

### 1. 資料館運営委員会

#### 〈委員〉

吉田 正治      北沢 彰利  
北原 みどり      宮原 祐敬      中平 榮子

#### 〔運営委員会の主な活動〕

##### ○定例委員会4回

- ・資料館「時の駅」の運営に関わりさまざまな提言をした。また、夏休み親子体験教室、小正月飾りづくり教室の指導も行った。

### 2. 資料館調査委員会

#### 〈委員〉

(山 吹) 山路 文夫      湯澤 弘典  
(吉 田) 中塚 敏彦      中塚 武仁  
(下市田) 唐木 孝治      手塚 浩司  
杉田 洋一  
(上市田) 中平 明夫  
(牛 牧) 林 治巳  
(大島山) 佐々木 一寿  
(出 原) 宮下 剛

#### 〔調査委員会の主な活動〕

##### ○定例委員会5回

- ・「高森町の奉納額」の調査について、原稿をまとめ、校正・出版をした。
- ・小正月飾りづくりでは、飾りつけの指導をした。

##### ○委員研修視察旅行

- ・隔年実施のため、本年度は行わなかった。

### 3. 古文書研究会

#### 〈組織〉

会 長      矢澤 篤 (上市田)  
副会長      宮下 明子 (中川村)  
会 計      畑中 定喜 (出 原)  
監 事      鈴木 信孝 (下市田)  
講 師      吉澤 章 (飯田市)  
顧 問      福島 壽子 (下市田)  
手塚 勝昭 (吉 田)  
幹 事      塩澤 元広      小林 和子 (資料館)  
会 員      23名 (内9名は町外の会員)

#### 〔活 動〕

##### ○定例会 (毎月第3木曜日)

- ・高森町旧家に関する古文書や研究会発行の月報に掲載されている古文書を、講師の吉澤さんに解説していただき読み深めた。

##### ○館外研修 (9月19日)

- ・江戸時代の三遠南信を繋ぐ水運・陸運の要地を訪ね研修をした。

##### ○古文書特別研究会 (2月23日)

- ・今年度は昨年同様、古文書の地域の方々 (牛牧地区) に参加を呼びかけ研究会方式でおこなった。弘化3年白川藩の市田陣屋設置による「二つの牛牧出現」について研究発表をした。

### 4. 高森町史を読む会

#### 〈組 織〉

会 長      松上 清志 (下市田)  
副会長      羽生 宏敬 (下市田)  
監 事      北村 重信 (牛 牧)  
会 計      小林 和子 (資料館)  
会 員      23名 (内1名は町外の会員)

#### 〔活 動〕

##### ○定例会 (毎月第4木曜日)

- ・10年目を迎えた町史を読む会では、「町史上巻後編 宗教」の項目を読み進めた。現地学習は、酒井幸則氏を講師に豊丘・喬木村の知久氏関連の史跡・資料館を巡り研修を深めた。

##### ○特別講演会 (1月25日)

- ・青木隆幸氏を講師に迎え「新しい多勢子像を求めて～市村咸人の『百年の物語』を見直す」と題して講演を行った。

### 5. 資料館活用委員会

- ・高森南小学校、同北小学校、高森中学校、高森町図書館の関係職員で構成し、年3回、資料館の有効活用について検討した。各学校職員の夏休み中の研修に当館見学を取り入れていただいた学校もあった。



## 第25回 “四分一世紀” 節目の「時の駅」講座

今年度は下記のような日程で、「時の駅」を会場に行いました。時の駅講座の講演記録は、資料館または資料館のホームページにあります。

### 第1講座『「私は田舎の考古学人」と自称した神村透先生』

7月6日 35名受講 講師：長野県文化財保護審議会委員 市澤 英利 氏



戦後の考古学の先駆けをなした神村透先生の生い立ちと怒涛の人生を紹介する。高校時代に大沢和夫先生から考古学を学び、登呂遺跡の発掘にも参加した。明治大学文学部で考古学を専攻し、他大学の講義にも参加し人脈を築いた。卒業後教員となり、県教委社会教育課指導主事・中央道遺跡調査団調査主任・長野県埋蔵文化財センター調査部長として出向し、県内各地の遺跡調査に携わった。一方で長野県考古学会の立ち上げにも奔走し、『長野県史』の原始古代の編集にも携わった。

出身地の高森町北原遺跡の調査では、弥生中期の磨製石鏃の製作状況を明らかにし、飯田市伊賀良立野遺跡の押型文土器の研究では、当時の学説に対抗する説を唱え、現在その考えが認められている。調査現場では人材の育成に心血を注ぎ、その人生は“田舎の考古学人”と自称するにはあまりに大きな足跡を日本考古学界に残した。

### 第2講座『藤村の「破戒」のモデル 大江礒吉を学ぶ』

9月7日 39名受講 講師：高森町教育委員会教育長職務代理 湯澤 正農夫 氏

島崎藤村の小説『破戒』のモデルとなった大江礒吉は、近代化に向かって動き出した明治社会の矛盾と抑圧に対する抵抗の象徴でもあった。大江礒吉は明治元年生まれの飯田市下殿岡出身の教育者で、高等師範学校文学科卒業後、長野県師範学校教員となったが、差別により大阪府尋常師範学校教員、鳥取県尋常師範学校教員と居所を移し、柏原中学校校長として明治34年に早世した。

これまでの大江礒吉の捉えは、「忍と力」を強調することで、差別の構造を矮小化し、個人の問題にしてしまう傾向があった。今後は差別を概括的に捉えず、一部をとらえて全体論を創らないようにしなければならない。社会の変遷、人との出会いによって変化する人間を基軸に置き、人間の「感応」を磨かせるべきである。



### 第3講座『<sup>くれき</sup>柿と榑木～江戸時代の高森の人々の負担～』

11月9日 27名受講 講師：飯田市歴史研究所特任研究員 前澤 健 氏



まず多くを学んだ『高森町史』は刊行から半世紀を経ても色あせない自治体誌の一つであり、その後の成果を取り入れながら乗り越えることが求められる。

年貢の一つ「柿相（かきあい）」は、柿畑に懸かる年貢としてみれば、「本途」と同様に扱われるのは当然。明暦2年以外の柿改帳が残っていないのは、同年の柿改がその後の基準だったから。役から柿畑の年貢への転換点となった。

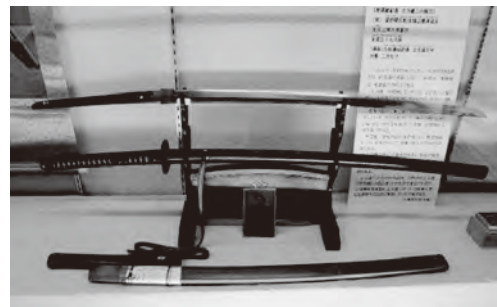
「榑木米」とは榑木の代わりに米を納めるもので、榑木米が2つあるのは、「人役」と「高役」の2つがあったからであり、上市田村に課されなかったのは、伊那街道の「伝馬役」があったからである。後に榑木の運搬が請負化することで榑木の「管流し」が「筏流し」へと変化していった。地域に残る史料は大切に保存してほしい。

# 令和6年度企画展・特別展

## 企画展『刀剣が語る幕末の歴史』

4月27日～6月9日 入館者1,594名

今年度は松本の佐藤肇祐氏・座光寺の井村博久氏の協力を得て、天狗党通過160年を記念する企画展を開催しました。天狗党党首の武田耕雲斎の刀をはじめ、新選組初代局長：芹沢鴨や副局長：土方歳三の刀など幕末期に係わる刀剣類を展示しました。SNSでの反響もあり、県外からの見学者も多くありました。水戸浪士の遺した刃こぼれのある刀（当館所蔵）に興味津々の方もおられました。



## 特別展『高森町が生んだ考古学者 神村透の人と学問』

6月30日～8月12日 入館者773名

今年は、高森町出身の考古学者：神村透氏の没後5年ということで、神村氏の生い立ちと戦後の考古学に果たした役割を中心に、縄文早期立野遺跡や弥生前期林里遺跡・中期北原遺跡の遺物を交えて展示紹介しました。長野県考古学会や長野県埋蔵文化財センターの創設に関わり、地方にありながら全国的にも考古学の進展に寄与した生涯でした。長野県の伊那谷を生涯の故郷とした神村氏が、東西の文化を結ぶ役割を果たしたことが偲ばれる企画展となりました。



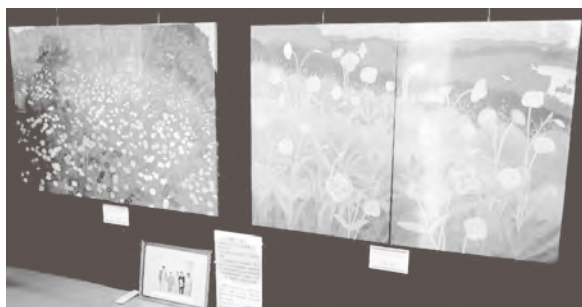
## ミニ平和展『高森からNO WAR！』 『日清戦争の頃の軍事郵便』

8月6日～8月31日

これまで当館に寄贈いただいた戦時資料の中から、軍事郵便・終戦詔勅を放送したラジオなどを展示しました。「高森からNO WAR！」コーナーでは、満州移民の新聞記事をまとめて展示しました。

## 特別展『郷土の作家展』 9月1日～10月10日 入館者696名

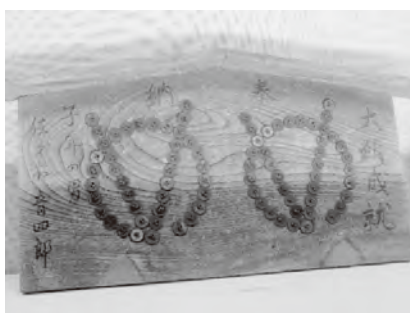
今回の「郷土の作家展」は、土屋幸子さんの桐塑人形、寺沢順子さんのパネル画を初めとした高森町にゆかりのある作家の作品を展示しました。当館所蔵の作品は平面作品が多い中で、土屋さんの桐塑人形は立体的で点数も多く、ボリューム感のある展示となりました。



## 特別展『寺社奉納額にこめた人々の思い』

11月3日～12月8日 入館者746名

当館の調査委員会が3年がかりで進めてきた、「寺社奉納額」の調査成果を展示発表しました。奉納額の種類は、金的中や弓関係のものが最も多く、次に多かったのは奉納相撲額で、弓の奉納射会や地相撲が盛んに行われたことを示しています。俳額・和歌奉納額も多く、当地の文芸の活況ぶりを示すものといえましょう。最古のものは瑠璃寺本堂にある寛文13(1673)年のもので、最も新しいものは領法寺にある平成23(2011)年のものでありました。建物の中にあるものは保存状態がよく、室内で保存できると良いことが分かりました。年度末に完成予定の冊子を活用し、今後の町内ウォークにつなげていきたいものです。



## 町民ギャラリー展『昭和をかざる切手展(1)』

1月18日～2月19日 入館者568名



高森町内のコレクターから拝借した切手を1950～1970年代を中心に展示しました。背景に年表を掲げ、当時の社会状況と比べながら見学できるようにしました。1964年の東京オリンピックや1970年の大阪万博、1972年の札幌冬季オリンピックなど高度経済成長期の昭和時代が思い出される展示を工夫しました。今後も当館のスケジュールの合間に町民の皆様にギャラリーを活用いただきたいと思います。



## 企画展『ひな人形と美人画』3月1日～4月6日 入館者576名

恒例の「ひな人形と美人画」展ですが、今回は、公民館美人画教室の皆さんの作品が10点展示されました。また布喜の会の皆さん製作のつるし雛の展示とコラボ企画の「干支飾り手作り体験」を開催しました。

痛みがひどかった牧田家の内裏雛1組の修復ができ、大正期のものと判明し展示できたのも成果でした。



### 小中学生の作品展示(10月～2月)



高森中学校生徒作品



高森南小学校児童作品



高森北小学校児童作品

### 『大人の体験講座』 始まる！・・・

「体験はこどもだけでなく、大人も…」という声を受けて、今年度から『大人の体験講座』を始めました。10月20日は、第2展示室にある「いろりの間」を活かして、「いろり端で楽しむ昔話」を開催しました。語りの会「たんころりん」の4名の方に語っていただき、19名の参加者が昔話を楽しみました。

3月8日には、高森町教委の高島佳奈さん指導で「トンボ玉作り」を開催しました。定員10名はすぐ埋まり、当日は親子体験とは違った真剣な表情でトンボ玉づくりに挑戦していました。



## 夏の親子体験教室と小正月飾りづくり体験教室

今年の夏の親子体験教室も、感染防止対策はご家庭にゆだね、人数制限を設けて実施しました。今年は5講座(富本銭づくり・繭から人形づくり・勾玉づくり・土器づくり・トンボ玉づくり)を7月27日・28日・8月4日の3日間で計66名の皆さんに楽しんでいただくことができました。10月20日には、作った土器の野焼き体験も行いました。

小正月飾りづくり体験教室(1月13日)では、44名の親子、16名の運営・調査委員の皆さんが参加し、晴天のもとで餅つき、もち花・まゆ玉づくりを体験することができました。館長の小正月飾りの意味の話に加え、付喪神(つくもがみ)キャラクターを探して館内を探検するひと時も持てました。



## 学校・地域との連携

小中学校を中心に、今年も多くの学校で校外学習・出前授業、職員研修等に利用していただきました。

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| ①高森南小学校 6年4組 満蒙開拓   | ②つくば開成学園高校生         |
| ③高森北小学校 クラブ活動 6回    | ④追手町小学校 3年生 昔の暮らし体験 |
| ⑤高森北小学校 職員研修        | ⑥松尾小学校 5年生 石臼借用     |
| ⑦高森南小学校 6年生 社会科：富本銭 | ⑧高森南小学校 4年生 市田柿の学習  |
| ⑨松尾小学校 3年生 石臼借用     | ⑩高森南小学校 3年生 昔の暮らし体験 |
| ⑪高森北小学校 3年生 昔の暮らし体験 | ⑫浜井場小学校 3年生 昔の暮らし体験 |

◇そのほか、「楽校にじいろの花」の皆さんが「縄文クラブ」の学習を3回行いました。

◇資料館を毎月の定例会場として、短歌、俳句、源氏物語、音読など多くの団体にご利用いただきました。

◇CATVを通して「時の駅にようこそ」(2か月毎)を放送し、町民の皆さんに館の様子を紹介しました。



←高森南小学校 4年生  
市田柿の学習



高森中学校 3年2組  
当館取材状況 →

## 資料館活動の様子

### ①古文書整理作業



資料館に寄託された文書整理を行っています。現在は、竹村家文書を整理しています。今年度は、目録をもとに古文書研究会での史料研究などに活用されました。2月20日には古文書特別研究会が開かれ、弘化3年白川藩の市田陣屋設置による「二つの牛牧出現」について研究を発表しました。

### ②土器整理作業

発掘された土器の復元作業や図面づくりを進めています。今年度は吉田の井上遺跡・下市田の北原遺跡（積善会館周辺）の弥生時代の遺物整理を行い、報告書は堂垣外Ⅰ遺跡の遺構編の刊行にこぎつけました。整理作業員のお二人は、作業にも慣れ、主体的に整理を進めてくれています。夏休み親子体験やブンカザイルキッズの活動にも協力頂いています。



### ③清掃作業



毎月2回、館内を隅々まできれいにしています。

また、休憩の間に聴く昔の高森についての話やより使いやすい館へのご意見は参考にさせて頂いています。



## 研究調査報告 薬師堂の奉納額にみる病氣平癒の願い

塩澤 元広

### 一 はじめに

令和4年度から当館調査委員会は町内にある寺社奉納額の調査に取り組みました。そして、その結果を『奉納額にこめた人々の思い—高森町寺社奉納額調査のまとめ—』という冊子にまとめることができました。その中で、瑠璃寺に奉納された、眼病が平癒した人が掲額した絵馬の経緯がわかったのがとくに印象に残りました。そこでその絵馬を手始めに、ほかの薬師堂にある絵馬も調査して、そこからわかったことをまとめてみました。



### 二 瑠璃寺の「め」の絵馬

これは大島山地区の古刹瑠璃寺の本堂（薬師堂）正面にある絵馬です。絵馬の上部に「奉納」、右側に「大願成就」、左側に「子年の男 佐々木音四郎」と書かれています。そして、これらの文字の内側には、「め」の形に穴あき銭が左右41枚ずつならべられています。これは江戸～明治時代に、視覚障害の人が「目が開く（見える）ようになりますように」とのねがいから、また眼病の人が平癒を祈願して奉納する絵馬に多くみられるものです。41枚であるのは「よい（良い）」の語呂合わせでしょうか。

裏面には、

記 元飯田桜町二丁目、大黒屋中興の主佐々木音四郎、明治中頃眼病を患ひ瑠璃寺本尊薬師如来に平癒を祈願す、医王靈驗灼かにして眼病全快す、時に文久永宝の銭を以てめの字を形取る絵馬を奉納して大願果しとなす、以来信者参詣人の衆目に親しみて幾星霜、去年春心無き者の盗難に会ひこれを失れも薬師如来の御慈悲に平伏し音四郎の徳を偲び、縁の者の志によりこれを復元、医王の前に奉納するものなり、昭和五十二年三月十三日 音四郎曾孫佐々木吉孝これを記す

と書かれています。これによれば、佐々木音四郎は飯田桜町二丁目の人（大黒屋）で、明治の中ごろ眼病をわずらい、瑠璃寺本尊の薬師如来に平癒を祈願しました。すると靈驗あらたかで全快したことから、音四郎は文久永宝でもって「め」の字をかたどった絵馬を奉納して大願をはたしました。しかしその絵馬は昭和になって盗難にあい紛失してしまいました。そこで音四郎に縁のある者たちが、薬師如来の慈悲に平伏するとともに音四郎の徳をしのび、その絵馬を復元してふたたび奉納したものであるとのこと、ということで、この絵馬は後世に復元したのですが、音四郎の眼病が治った喜びと感謝の思いが伝わわるものです。

このような「め」の絵馬は、関東～中部地方にみられ、多くは薬師堂に奉納されています。薬師如来はひろく病氣平癒にご利益があるとされ、現在も病気を患う多くの人が参拝にやってきますが、十二誓願の第一が「光明普照」であることから、光といえば目ということで、「お薬師様は目の神様」と特に目の病気の人の祈願を集めました。この絵馬のように穴あき銭で「め」の文字を作ったものや、左側の「め」を鏡文字にした「向かい目」の絵馬、眼を8つ描いた「八（病）む目」の絵馬などいろいろな図柄がありました。このような絵馬が作られた背景には、その当時、日本人に眼病を患う人が多かったということがあります。下市田村の中村家の庄屋日記などをみると、江戸時代に座頭や瞽女がやってきて泊めてあげたり、勧進をあたえたという記述がいくつか見られます。また江戸末期から明治にかけて多くの外国人が日本にやってきて、旅行記などの記録を残していますが、その中に日本人に眼病が多いことに驚いたと書かれているものがいくつかあります。こうしたことから、「め」の絵馬は各地の薬師堂に奉納されたのです。瑠璃寺には、以前はこの絵馬がほかにもいくつかあったようです。



写真は多くの奉納額がかかげられた瑠璃寺本堂。「め」の絵馬は向かって右側にある。



### 三 駄科阿羅多堂の絵馬

飯田市竜丘駄科に阿羅多堂という薬師堂があります。ここは伊那薬師十二札所の第四番札所になっていますが、しばらく前から無住の寺となり、地元の人たちの手によって守られてきた寺院です。ここにも古そうな絵馬がいくつかあります。絵馬は正面の戸の上に掛けられています。しかし長い間外にありましたので劣化が進み、残念ながら多くは何がかかわれているかわからなくなっています。時期は、絵に描かれた人物の姿や書かれた文字から、江戸時代～明治時代のものと推測します。

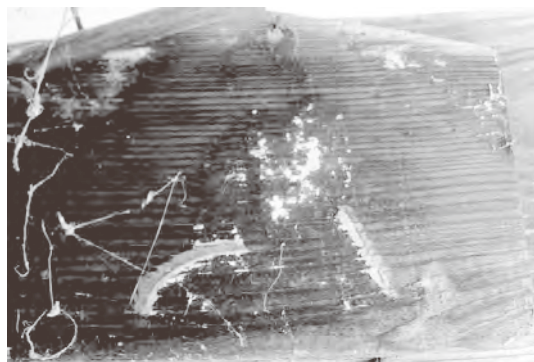


この3つの絵馬は「め」「目」の文字が見えるので、おそらく瑠璃寺の絵馬と同じように眼病の人が掲額したものと思われます。一番下のものは、「願主 申の男」とあり、「め」が12個書かれています。





次の4つの絵馬は、女性の姿が描かれたり「女」という文字が見え、これは「婦人病」といわれた女性特有の病を患った人が、その平癒や軽くなることを願って奉納したものと思われます。



石に穴を開け、ひもや針金を通してつるしてあります。これは耳が聞こえなかったり、耳の病気を患う人が、「通じるようになりますように」と願ったものと思われます。

このように阿羅多堂にある絵馬は、どれも病気を患う人が奉納したと思われる絵馬ばかりであり、病気がよくなることを願う人々の信仰を集めた寺院であったことがわかります。



#### 四 現在も続けられている「め」の絵馬の奉納

「め」の絵馬が現在も続いているところが身近にあります。それは飯田市鼎名古熊の運松寺です。ここは伊那薬師十二札所の第一番ですが、ここの薬師堂は今も多くの人々が病氣平癒の祈願に訪れ、絵馬を奉納しています。その絵馬をよく見ると、どれも「め」の字が鏡文字となっています。住職にお聞きすると、病氣などが治るようにということで、反転した字にしてもらっているとのことでした。そのはじまりは、同寺を開いた小笠原氏が戦いで目に矢をうけ、その傷が治りますようにと「め」を逆さ文字にして絵馬を奉納したことからだといえます。それ以来というのですから、小笠原氏は中世におけるこの地域の支配者なので、同寺における「め」の絵馬は長い歴史をもつことになります。

これら薬師堂に奉納された絵馬からは、いつの世も変わらぬ、人々の病氣平癒の切実な思いが伝わってきます。



〈参考文献〉・立川昭二『近世病草子』

・飯田中央農業組合『虫封じ』



# ✧ ✧ ✧ **令和6年度の記録** ✧ ✧ ✧

|     |    | 利 用 団 体 名 称 と 人 数                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 月 | 町内 | 資料館調査委員会(11) 資料館事業説明会(7) ひだまりの会(10) 滝里歌会(8) 牛牧歌会(6) 高森町史学会総会(25) 資料館運営委員会(7) 古文書研究会(16) 気学の会(9) 木鶏の会(7) 古文書研究会会計監査(3) 高森町史を読む会(15) 高森キッズサイエンス(19) 音読の会(5) まちづくりを語る会(1) 出砂原高寿会(20) 白夜短歌会(11) 布喜の会(20) きさらぎ会(6) 源氏物語講読会(14) 短歌歩道の会(6) 高森自由大学(21) 松岡城址愛護会(4) わかば勉強会(5) 天理教ボランティア(7)        |
|     | 町外 | なし                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 5 月 | 町内 | 古文書研究会(13) ひだまりの会(3) 高森自由大学(28) 善道会(14) 高森町史を読む会(15) 高森町史学会研修旅行(35) わかば勉強会(4) 気学の会(6) 刀剣説明会(46) きさらぎ会(6) 源氏物語講読会(11) 音読の会(4) 滝里歌会(7) 井上井月の会(6) 木鶏の会(7) 高森BC(18) 布喜の会(14) 白夜短歌会(10) 縄文クラブ(11) 短歌歩道の会(7) 牛牧歌会(7)                                                                          |
|     | 町外 | 下伊那郡北部地区公民館総会(17) 上郷下黒田公民館(38) 毛賀史学会(12) 温泉ツアー(22) 大阪の修学旅行生(5)                                                                                                                                                                                                                          |
| 6 月 | 町内 | 牛牧短歌会(5) 伊那吟行(7) 高森自由大学役員会(4) 南小6年4組(28) 古文書研究会(15) まちづくりを語る会(36) 資料館調査委員会(11) 気学の会(7) 滝里歌会(8) きさらぎ会(6) 井上井月の会(6) わかば勉強会(6) 古文書研究会館外研修下見(5) 布喜の会(11) 食改(14) 資料館活用委員会(7) 高森町史を読む会(14) 花とあそび(30) 北小クラブ(9) 音読の会(6) 高森BC(66) 松岡城址愛護会役員会(5) 白夜短歌会(10) ひだまりの会(8) 短歌歩道の会(7) 源氏物語講読会(9) 木鶏の会(7) |
|     | 町外 | つくば開成学園高校(24) 大阪の修学旅行生(5)                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 7 月 | 町内 | 資料館活用委員会(5) 源氏物語講読会(11) 夏休み親子体験教室(40) 伊那谷健康友の会(30) 第一回時の駅講座(35) いきいきクラブ(42) きさらぎ会(5) 音読の会(5) 短歌歩道の会(6) 古文書研究会(14) わかば勉強会(5) 北小職員研修(9) 高森町史を読む会(14) 滝里歌会(8) ひだまりの会(4) 白夜短歌会(11) 牛牧歌会(6) 気学の会(9) 高森BC(40)                                                                                 |
|     | 町外 | 追手町小3年生(23) 飯下建設労連(30) みらい福社会(15) 三穂歴史探訪(12)                                                                                                                                                                                                                                            |
| 8 月 | 町内 | 源氏物語講読会(7) わかば勉強会(5) 滝里歌会(8) 夏休み親子体験教室(28) 木鶏の会(7) 松岡城址愛護会役員会(10) ひだまりの会(3) 南小6年生(111) 牛牧歌会(4) 気学の会(7) きさらぎ会(6) 白夜短歌会(8) 花とあそび(19) 古文書研究会(17) 高森町史を読む会(14) 高森町史学会幹事会(14) 短歌歩道の会(6)                                                                                                      |
|     | 町外 | 長野県地理学会(26)                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 9 月 | 町内 | 第二回時の駅講座(39) 気学の会(8) 資料館運営委員会(4) 古文書研究会館外研修旅行(14) 音読の会(5) 高森自由大学役員会(8) ひだまりの会(3) 短歌歩道の会(5) 白夜短歌会(10) 資料館調査委員会(9) きさらぎ会(4) 滝里歌会(9) 源氏物語講読会(11) わかば勉強会(7) 夏休み親子体験教室(40) 高森町史を読む会(16) 高森中1年生(32)                                                                                           |
|     | 町外 | 名古屋ゆうゆうクラブ(20) 縄文クラブ(7)                                                                                                                                                                                                                                                                 |

皐月の花壇・芝桜



刀剣展・上郷下黒田歩こう会

南小6年満蒙開拓学習





|      |    | 利 用 団 体 名 称 と 人 数                                                                                                                                                                                                                                        |
|------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10 月 | 町内 | 高森町史を読む会・高森町史学会共催地域巡り(26) 高森キッズサイエンス(33) 音読の会(4) 高森中3年2組(2) 古文書研究会(16) 牛牧歌会(4) ひだまりの会(5) 南小4年生(95) 源氏物語講読会(10) 井上井月の会(3) 気学の会(5) わかば勉強会(9) きさらぎ会(6) 大人の体験教室(20) 短歌歩道の会(7) 滝里歌会(9) たんころりん(6) 白夜短歌会(8) 松岡城址愛護会役員会(6) シニア大学短歌班(8) 木鶏の会(7) 土器焼き(17)          |
|      | 町外 | 福井県の修学旅行生(4) 山梨県富士山麓世界遺産センター(3) 直虎顕彰会(29)                                                                                                                                                                                                                |
| 11 月 | 町内 | 第三回時の駅講座(27) 町内ウォーク(15) 源氏物語講読会(9) 牛牧短歌会(3) 気学の会(4) 高森自由大学役員会(5) 短歌歩道の会(5) 井上井月の会(4) ひだまりの会(4) 滝里歌会(8) 高森町史を読む会(14) 古文書研究会(17) 下市田史談会(12) 木鶏の会(7) 白夜短歌会(10) 短歌フォーラム選考会(4) 音読の会(3) わかば勉強会(6) きさらぎ会(5)                                                     |
|      | 町外 | デイスサービスつくい(40) 根羽村文化財調査委員会(5)                                                                                                                                                                                                                            |
| 12 月 | 町内 | 松岡城址愛護会役員会(5) 花とあそび(32) 白夜短歌会(9) ひだまりの会(3) 滝里歌会(7) 高森町史学会幹事会(10) 短歌歩道の会(6) 牛牧短歌会(5) わかば勉強会(6) 音読の会(3) 高森町史を読む会(13) 古文書研究会(13) 高森自由大学(30) 高森BC(28) きさらぎ会(6) 高森自由大学役員会(7) 源氏物語講読会(7) 短歌フォーラム(80) 気学の会(9)                                                   |
|      | 町外 | なし                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 1 月  | 町内 | 資料館調査委員会(10) 白夜短歌会(10) ひだまりの会(4) きさらぎ会(5) 南小3年生(92) まちづくりを語る会役員会(5) 気学の会(4) 古文書研究会(17) 牛牧歌会(5) 滝里歌会(9) 資料館活用委員会(6) 井上井月の会(6) 源氏物語講読会(10) 高森町史を読む会講演会(44) 松岡城址愛護会役員会(6) 小正月飾り作り教室(42) 短歌歩道の会(6) わかば勉強会(9) 高森BC(46)                                        |
|      | 町外 | 神奈川向上高校生(4) 縄文クラブ(4)                                                                                                                                                                                                                                     |
| 2 月  | 町内 | 市田柿フォトコンテスト(11) 史学会正副会長会(3) 短歌歩道の会(5) 源氏物語講読会(10) ひだまりの会(2) わかば勉強会(6) 気学の会(1) 滝里歌会(8) 牛牧歌会(5) 木鶏の会(7) 白夜短歌会(7) きさらぎ会(6) 音読の会(6) 美人画(3) 高森自由大学(39) 布喜の会(15) 古文書特別研究会(36) 高森町史を読む会(13)                                                                     |
|      | 町外 | 縄文クラブ(6)                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 3 月  | 町内 | 資料館運営委員会(4) 高森町史を読む会(15) 滝里歌会(8) わかば勉強会(7) 音読の会(5) 源氏物語講読会(10) いきいきクラブ(37) 白夜短歌会(8) ひだまりの会(4) 布喜の会(12) 資料館調査委員会(11) 古文書研究会(16) 北小3年生(13) 牛牧歌会(2) 短歌歩道の会(7) 高森町史学会幹事会(14) 大人の体験教室(7) 干支のつるし飾り教室(12) 井上井月の会(4) 高森町自然愛護会(46) きさらぎ会(6) 松岡城址愛護会役員会(6) 木鶏の会(7) |
|      | 町外 | 上郷地域を育む会(11) 浜井場小3年生(16) 縄文クラブ(4)                                                                                                                                                                                                                        |



町史を読む会・領法寺拝観



北小職員研修



町内ウォーク・瑠璃寺奉納額拝観

## 入館者数：令和 6 年度及び昭和 54 年 11 月の開館以降の累計 3月31日締

|          |                                     |
|----------|-------------------------------------|
| ★令和 6 年度 | 7,262 名（町内 5,813 名 町外 1,449 名）      |
| ★開館以降の累計 | 291,712 名（町内 229,025 名 町外 62,687 名） |

## 令和 6 年度 資料寄贈者御芳名

| 品 名          | 寄 贈 者    | 品 名    | 寄 贈 者    |
|--------------|----------|--------|----------|
| 蚕種箱・ラジオ・火のし他 | 山吹 松村康文  | 味噌造り機  | 牛牧 林治巳   |
| 玉音放送を聞いたラジオ  | 下市田 唐沢哲男 | 写真多数   | 山吹 原篤司   |
| 足踏み脱穀機・板ガラス  | 山吹 原いづみ  | 掛軸 7 軸 | 下市田 寺沢峻二 |

## 寄贈本一覧

|                  |             |                       |               |
|------------------|-------------|-----------------------|---------------|
| 伊勝八幡宮史           | 伊勝八幡宮       | 吉田ゆり子『周縁化された芸能者と近世社会』 | 吉田ゆり子         |
| 千両千両と井月さん：南信州に行く | 井月顕彰会下伊那支部  | 柿の里詩歌フォーラム 短歌・俳句作品集   | 高森文化ユニット      |
| ユタ日報研究 28 号・29 号 | 「ユタ日報」松本研究会 | 史談会だより 42 号           | 下市田史談会        |
| 坂井寛『茂ものがたり』      | 坂井寛         | 抜萃のつづり その八十四          | クマヒラ・ホールディングス |

## 寄託資料

|         |          |
|---------|----------|
| 大島山区有文書 | 大島山 大島山区 |
|---------|----------|

## 資料館からのお知らせ

古文書・古い資料を捨てないで資料館にぜひ一報を！  
なつかしい昭和の物も！

◆皆さんのお家に眠っている古文書類などの古い資料は、歴史を解き明かす大事なものです。江戸時代・明治時代の古文書類はもちろん、古い書籍、写真、軍事郵便などの戦前の資料等々捨てる・燃やす前に資料館へご一報ください。また資料館では、最近昭和の物も収集しており、ワープロやファミコンなどの寄贈をうけました。寄贈ではなく「寄託」という方法もあり、お借りして切手展を開催することができました。懐かしい物を見ながら、若き日の話に花を咲かせる場づくりにご協力ください。

## 編集後記

今年度も特別展や企画展、時の駅講座などの活動が計画通りできたこと、また親子体験教室も人数制限はしたものの多くの皆様ご参加くださったことは何よりであったと思います。特に今年度は、企画展「刀剣が語る幕末の歴史」に1,500人を超える見学者を迎えたことで、刀剣への関心の高さとSNSの発信力を痛感しました。また当館の特色である民具展示から「付喪神（つくもがみ）キャラクター」が多数登場したことで、子どもたちへのアピールが一層できるようになりました。これからも「モノは100年たつと神になる」を合言葉に、付喪神様が居並ぶ館を守っていきたいと思います。（竹内 稔）

